

# 図書室だより



令和6年7月8日(月)  
伊達中学校 図書室  
第5号 文責 阿部翔子

期末テスト、中体連総合大会など多くの行事が終わり、1学期も残りわずか。もうすぐ待ちに待った夏休みがやってきます。夏休み前の特別貸出では、いつもより多くの冊数、長い期間本を借りることができます。いつもは読めない長編や、シリーズもの、新しいジャンルにもぜひ、チャレンジしてみましょう。

## ◆夏休み前特別貸出◆

### ○貸出期間

7月4日(木)～7月18日(木)

※各学年の体験学習時にも貸出可能です。

次の予定に影響がないように利用してください。

### ○返却期限

8月22日(木)～8月30日(金)まで

### ○貸出冊数

1人5冊まで



### ※借りる際の注意

○夏休み前の特別貸出の本を借りる時に、延滞している本がある生徒は、新しく借りることができません。忘れずに返却をお願いします。もし、本を失くした生徒がいたら、カウンターまで来てください。

## ◆夏休み中の図書室開室について◆

伊達中学校では、夏休み中の1週間図書室を開室し、本の貸出・返却を行っています。開室時間は、11:00～14:00までの3時間。貸出冊数は5冊までです。詳しくは、夏休み前特別号に掲載します。夏休み前に借りた本を読み終わってしまった人・もっと本を借りたいという人はぜひ、利用してください。

### 6月の 人気本

6月は小説を中心に、「ざんねんないきもの事典」などの動物・「吹奏楽」などの音楽の本など様々なジャンルの本が人気でした。

#### 『ますますざんねんないきもの事典』



かわいがられすぎると寿命が短くなるコアラ、きらわれもののジャガイモなど進化の結果が、ちょっとざんねんに思えてしまう生き物たちを紹介。

#### 玄侑宗久『死んだらどうなるの?』



芥川賞を受賞した作家でもあり、福島県三春町のお寺の住職でもある作者が「あの世」はどういうところか「魂」は本当にあるのかを宗教的、科学的に考える本。

# ビブリオバトルをやってみよう

## ◆ビブリオバトルとは？

「ビブリオ」は、「本」という意味のラテン語で、「ビブリオバトル」は、立命館大学の准教授が2007年大学院生だった時に考えたお気に入りの本を紹介しあう「知的書評ゲーム」のことです。

「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」をテーマに、現在全国の学校・大学を始め、本好き著名人で争われる「スター決戦」も行われる人気ゲームとなっています。

## ビブリオバトル公式ルール

- 1 発表者が面白いと思った本を持って集まる。
- 2 発表者が順番に一人5分間で本を紹介する。
- 3 発表の後、本についての質疑応答を2分～3分行う。
- 4 全員の発表者が終わった後、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準に参加者全員で投票し、「チャンプ本」を決める。

マンガ・

雑誌はNG



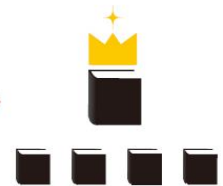
本を選ぶ



発表する



議論する



チャンプ本を選ぶ

## ◆ビブリオバトル福島県県北地区大会、発表者＆観戦者募集中！

現在、伊達中学校では9月1日（日）に福島市の福島大学で行われる県北大会の出場者を募集しています。興味のある人は、7月18日（木）までに、国語科の先生に相談するか図書室に来てください。



7月は、夏に読みたい本を紹介します。



### 雨露 山鳥『夏空のプレアデス』



「流れ星が降った夜、私の恋は始まった——」。オリヒメは、とある南の島に暮らす中学生のおんなのこ。満天の星の下、彼女の前に現れたのは 未来人を名乗るスバルだった。スバルとのデートを楽しみにしつつ、幼馴染みの同級生たちとの変わらない日常を過ごす少女。しかしスバルが予言したとおりに、島に転校生がやってきたその日から、彼女の日常は少しずつズレ始める……。

あなたは、この島の真実を見抜くことができますか？

